

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2019No.123】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ショパン

曲名：幻想即興曲 嬰ハ短調他

演奏：シプリアン・カツァリス

発売：エムプラス

No. : P21 043-N

概要：



[カツァリス・プレイズ・ショパン](#)という、ライブ録音集のCDで地元のホールで開催された[シプリアン・カツァリスのピアノリサイタル](#)で買い求めてきたものです。

ネット上の情報から、このCDの解説を下記に引用します。

「待望の「新」ショパン・アルバムが登場

2011年の来日公演では「リスト・プログラム」で日本に衝撃を与えてくれたシプリアン・カツァリス。1999年のカーネギー・ホールでのライブを収録した『[イン・メモリアム・ショパン](#)』以来となる待望のカツァリスのショパン・アルバムが「Piano 21」から登場。2010年のスタジオ&ライブ・レコーディングを中心とした『カツァリス・プレイズ・ショパン』です。

日本を含む世界各地でのカツァリスが弾くショパンを集めた『カツァリス・プレイズ・ショパン』最大の注目は『革命』と『別れの曲』のエチュード。TELDEC時代には「バラード&スケルツォ」と「ワルツ集」、SONY時代には「ソナタ」、「前奏曲」、「ポロネーズ」をレコーディングしてきたカツァリスですが、「エチュード」の演奏はほとんどリリースされておらず、遂に登場する『革命』と『別れの曲』のエチュードが大きな話題となることは間違いないでしょう。カツァリス・ファン、ピアノ・ファン大注目のリ

リースです。(東京エムプラス)」

【曲目】

ショパン：

- ・前奏曲第 15 番変ニ長調 Op.28-15 『雨だれ』(ライヴ録音：2010 年 9 月 23 日、茅ヶ崎市民文化会館)
- ・前奏曲第 20 番ハ短調 Op.28-20、第 6 番ロ短調 Op.28-6、第 7 番イ長調 Op.28-7、第 4 番ホ短調 Op.28-4 (ライヴ録音：2003 年 12 月 12 日、ハイデルベルク)
- ・パガニーニの思い出、ポロネーズ第 1 番嬰ハ短調 Op.26-1 (ライヴ録音：1999 年 6 月 20 日、エヒテルナハ)
- ・幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66 (録音：1978 年、パリ)
- ・春 ト短調 Op.74-2、コントルダンス 変ト長調 (ライヴ録音：2003 年 12 月 12 日、ハイデルベルク)
- ・ワルツ第 3 番イ短調 Op.34-2 『華麗な円舞曲』(ライヴ録音：1989 年 12 月 20 日、津田ホール)
- ・3つのエコセーズ (ライヴ録音：1991 年 9 月 7 日、シュトゥットガルト)
- ・コルトー編：ラルゴ (ライヴ録音：2010 年 11 月 6 日、ハイデルベルク)
- ・練習曲第 12 番ハ短調 Op.10-12 『革命』、練習曲第 3 番ホ長調 Op.10-3 『別れの曲』、マズルカ第 5 番変ロ長調 Op.7-1 (録音：2010 年 12 月、ハイデルベルク)
- ・アレグレット、マズール、マズルカ第 44 番~第 47 番
- ・夜想曲第 6 番第 2 番第 20 番
- ・ラルゲット

【演奏】

シプリアン・カツァリス

一部を除き、ショパンの曲の演奏を集めた、各地の演奏会のライヴ録音集です。

地元のホールで開催された[シプリアン・カツァリスのピアノリサイタル](#)を聴いてきたばかりなので、曲目は違いますが、ライヴの雰囲気はどのように収録されているかに興味があります。

収録年代は、1978 年から 2010 年、収録場所は、ドイツ、日本、フランスの各地ですが、それぞれのホールのライヴ感はよくでています。

カツァリスらしく、繊細で詩情あふれるピアノリズム、ウイットに富んだユーモラスな演奏、そして華麗なテクニックと、曲に合わせて、ショパンの面白さを聴かせてくれます。

以上